

松下幸之助の 経営理念学ぶ

デンタルタイアップ主催セミナー

え、2日目は同塾の佐野尚見理事長の講演が行われた。

佐野理事長は「松下幸之助の物の見方・考え方」と題し、創設の経緯をはじめ、同塾の創立者でもある松下氏の経営理念や人間観、組織論などを説明。「利益は社会に対する貢献の程度によって与えられるもの」「成功の要諦は成功するまで続けること」の言葉を紹介しつつ、「経営理念は社員のやりがい、構造改革の常態化につながる」として理念経営実践の必要性を強調した。

講演後の質疑応答で、参加者からのインプラント治療を受けた経緯に関しての質問に対し、佐野理事長は「治療費が高いと思っただが、長年の付き合いで信頼関係が確立され、治療費を含め丁寧な説明を受けたから」と理由を述べた。また、医院経営の継続の秘訣について「優れた技術と理念を持つこと。理念をしっかりと持つ企業は持つてない企業に比べ経営が継続する傾向にあるとの調査結果がある。理念がないと代替わりの際にノコギリの刃がかけたよう

になる」とし、理念を共有するコツについては「常に口にする。健全な理念であれば、危機感を含め経営の実態をオープンに話しても職場で調整でき、浸透していくはず」と答えた。さらに一般公開はしていない松下政経塾の施設見学も行われた。



松下幸之助の経営理念などを話す同塾の佐野理事長

1日目に行われた講演では、同社社長の小原氏をはじめ、中部大学教授の児玉充晴氏やストラナザ社長の西島彰一氏、税理士法人ネクスス社長の角田祥子氏、メディアカルスペースデザイン社長の水口真理子氏が講演し、超高齢社会にある日本の人口動態や労働環境などを踏まえた歯科医療の状況、算命学や六占術、手相鑑定ビジネスでの応用法、価値を高める時間の有効活用、利益や会計から観る医院経営の在り方、快適な医院の空間づくりについて話した。

歯科医院の組織づくりを支援するデンタルタイアップ（本社・広島市、小原啓子社長）は15、16の両日、「院長・管理職の『未来と組織の成長を語り合う会』と題したセミナーを神奈川県国際村センターと松下政経塾で開いた。リーダーとしての在り方を再考し連携を強化するのを目的としたもので、1日目の5講演に加